

W TOKYO

2024年6月期 第2四半期決算説明資料

株式会社 W TOKYO

2024年2月14日

本決算説明のサマリー

1 FY2024/6 2Q業績概要

- 売上高は前年2Q対比で約4%増大
- 人件費・資材費等高騰の影響により各段階利益は前年2Q対比で減少となったが、調整後営業利益は4億円強を確保
- BSの強さは継続。強いキャッシュフロー創出力に支えられ、自己資本比率51.1%（前期末40.7%）に改善

2 ビジネスハイライト

- 計画されていたTGC地方開催、シティプロモーション案件を成功裡に実施完了
- 地銀連携の具体的な展開として、七十七銀行とのシティプロモーションプロジェクトを今春から展開予定
- WEB3関連の進捗として、合併会社「YOAKE entertainment」を設立。3Q以降、秋元康氏総合プロデュースのもと、プロジェクト始動

3 2024年6月期業績予想と進捗

- 通期業績予想は前回発表から変更なし
- 通期業績予想の各段階において進捗は約50%に到達しており、展開は順調

1. 2024年6月期第2四半期 業績概要
2. ビジネスハイライト
3. 2024年6月期業績予想に向けた進捗

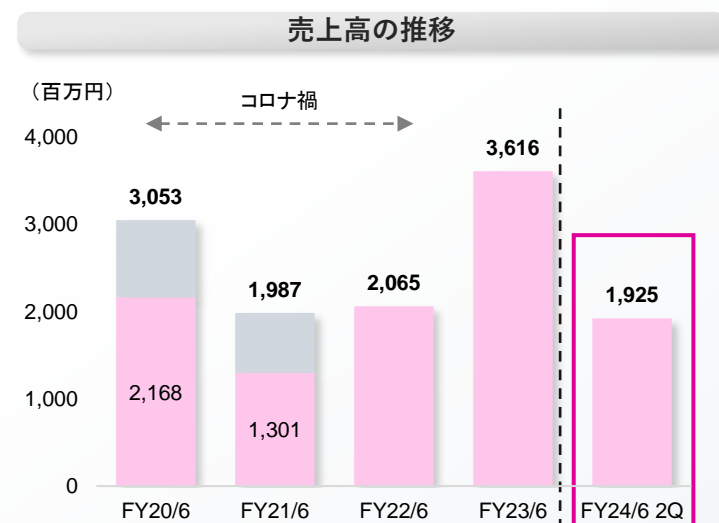


2024年6月期第2四半期 業績概要

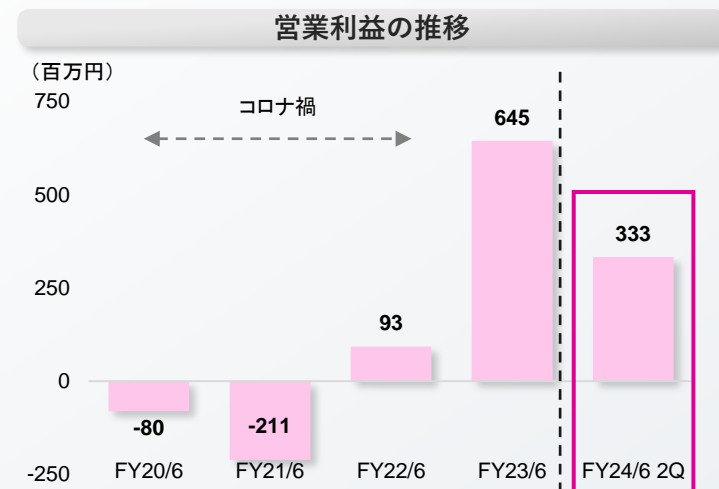
2024年6月期第2四半期 業績概要

□ 売上高は前年2Q対比増加したが、人件費・資材費の高騰等により利益はやや減少

(百万円)	FY2023/6 2Q	FY2024/6 2Q	
	実績	実績	前年同Q対比
売上高	1,853	1,925	72 +3.9%
売上総利益	837	822	-14 -1.8%
対売上高%	45.2%	42.7%	
営業利益	393	333	-59 -15.2%
対売上高%	21.2%	17.3%	
四半期純利益	227	215	-11 -5.2%
対売上高%	12.3%	11.2%	
(参考)			
調整後営業利益*	475	415	-59 -12.6%
対売上高%	25.6%	21.6%	
調整後四半期純利益*	293	283	-10 -3.5%
対売上高%	15.9%	14.7%	



■FY21/6までは、アフィリエイト広告売上等で総額表示を採用していたため、FY22/6以降の売上高と同一会計基準での比較は、ピンク色の売上高を参照ください



* のれん償却額及び商標権償却額を調整した営業利益及び四半期純利益。

事業領域別売上高の推移

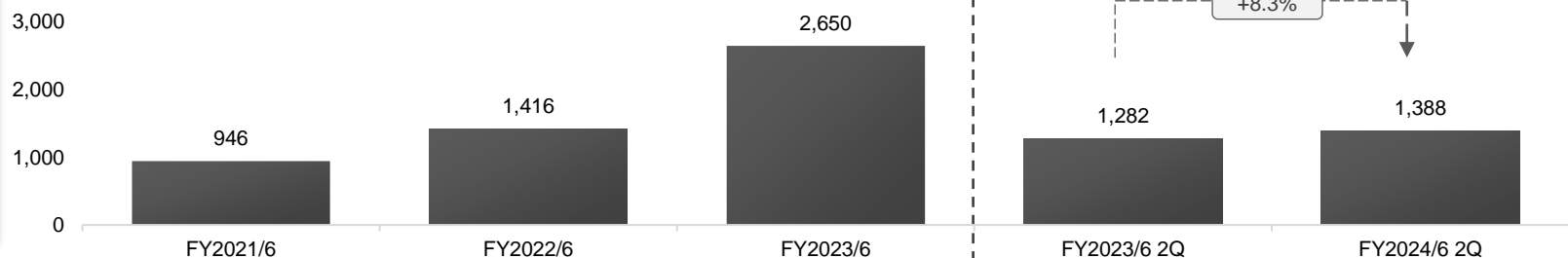
- 最大の構成割合を占めるTGCプロデュース領域では、
シティプロモーション等の積極展開により前年2Q対比8%強の成長

領域別売上高の推移

(百万円)

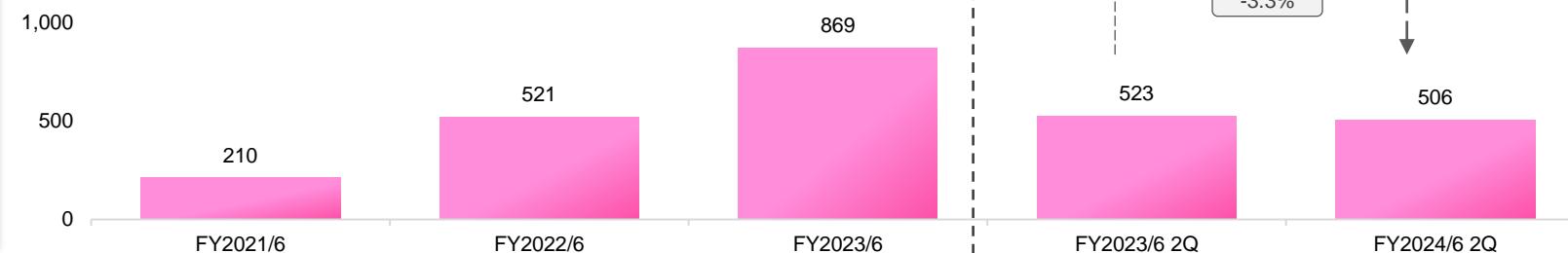
TGCプロデュース領域

TGC東京開催、
TGC地方開催、
シティプロモーション、
バーチャル事業等
発信力を強みとする領域



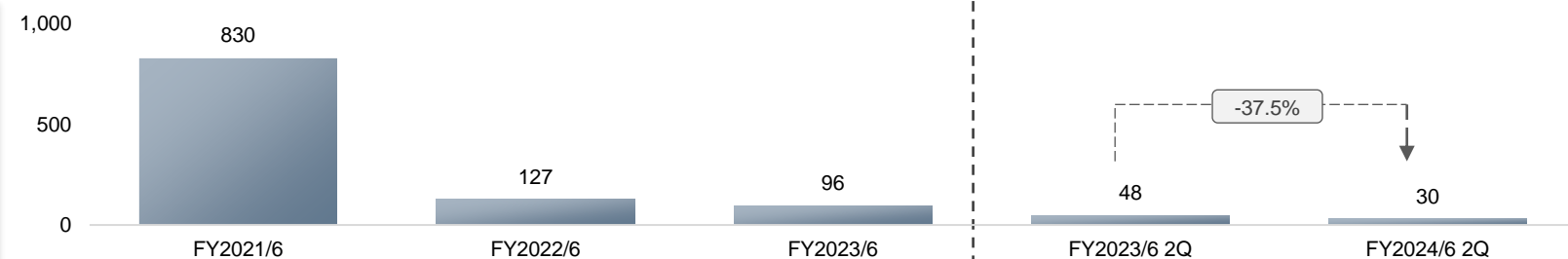
コンテンツ プロデュース・ ブランディング領域

TGCブランドの
ライセンス事業や
コンテンツ企画力を活かした
新たな価値創造領域



デジタル広告領域*

アフィリエイト広告
TGC公式メディア運営
等の領域

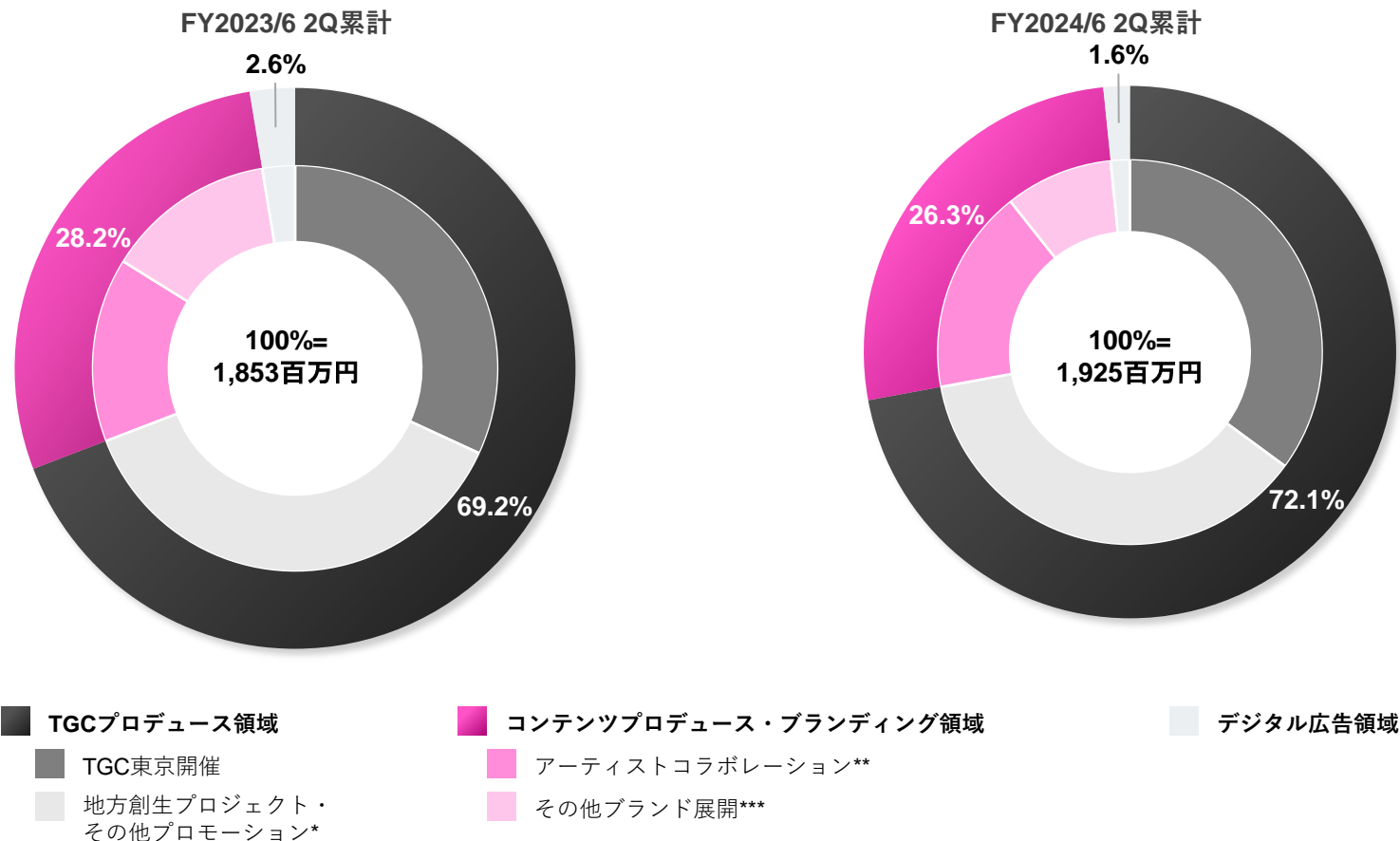


* FY2021/6は収益認識会計基準の適用前であり、アフィリエイト広告売上等で総額表示されている。

事業領域別売上構成比の変化

- 1QのTGC 2023 A/Wや、2Qのシティプロモーションの収益貢献が大きく、TGCプロデュース領域の構成比が、約72%と前年2Q累計対比でやや増加

事業領域別売上高の詳細ブレイクダウン



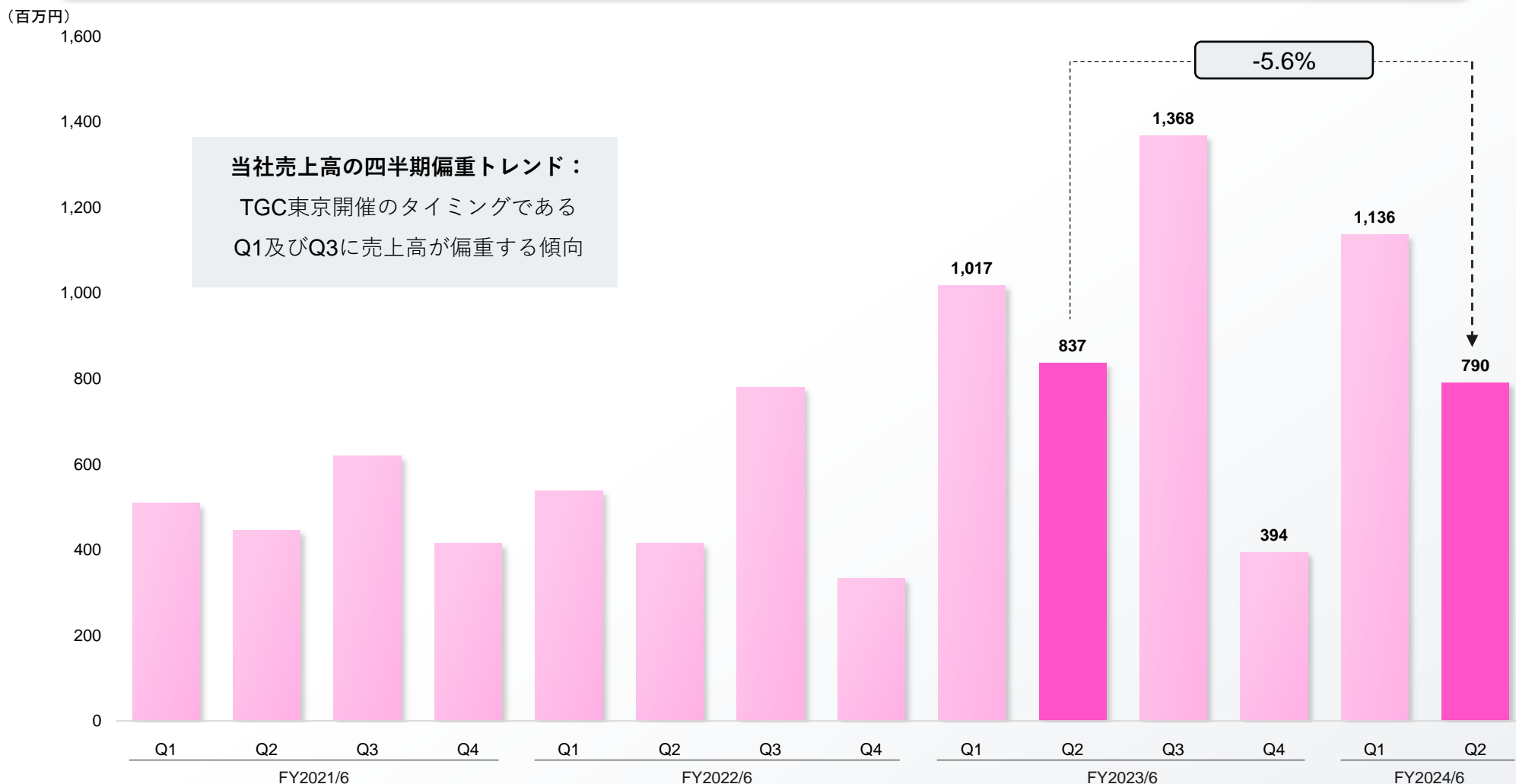
* TGC地方開催やシティプロモーション、その他プロモーション受託等に係る売上。

** アーティスト・タレントのキャスティングとクリエイティブ制作等を行い、クライアントのサービス・商材のブランディングを担うことによる売上。

*** TGCブランドを活用した売上（ブランドロイヤリティ受領ビジネス、TGC AUDITION、TGC SCHOOL、TGC公式ファンクラブTGC Premiumの会員収入等）。

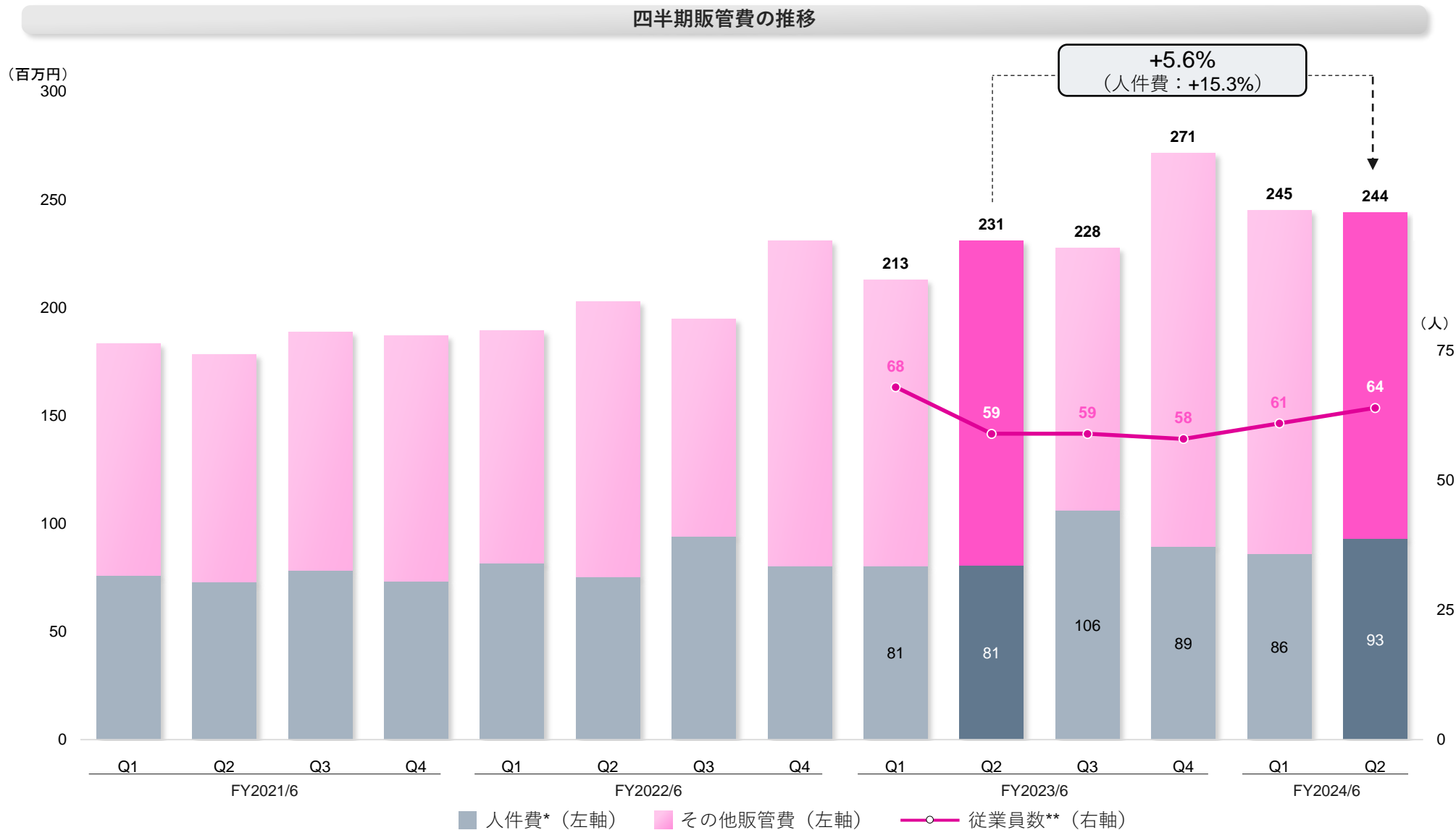
売上高の四半期推移

四半期売上高の推移



注 FY2021/6は収益認識会計基準の適用前であり、アフィリエイト売上等が総額表示されている。
FY2021/6、FY2022/6の四半期単位の数字は監査法人の監査対象外であり、あくまでも参考値として掲示。

販管費の四半期推移



* 役員報酬、給料手当、賞与、法定福利費の合計。

** 正社員、契約社員、アルバイトの合計。

貸借対照表の状況

□ 引き続きバランスシートは強固。成長投資余力のある堅牢なバランスシート

(百万円)	FY2023/6 4Q末時点	FY2024/6 2Q末時点	増減
流動資産合計	2,296	2,244	-51
現預金	1,971	1,892 A	-79
固定資産合計	826	749	-77
のれん	230	193 B	-36
商標権	452	407	-45
資産合計	3,122	2,993	-128
流動負債合計	859	642	-216
一年内返済予定の長期借入金	146	146	0
固定負債合計	992	821 C	-171
長期借入金	987	821	-166
負債合計	1,852	1,464	-387
純資産合計	1,270	1,529 D	258

ポイント

- A** 引き続き現預金残高は潤沢であり、有利子負債残高を上回るネットキャッシュの状態を維持。
- B** 10年定額償却により減少。
(参考) 償却終了時期
のれん：2026年8月
商標権：2028年6月
- C** 約定返済及び一部繰上返済により1Q末時点より更に減少。
- D** 四半期純利益の確保により純資産は一層厚みを増している。

* 有利子負債残高より、保有現預金残高の方が大きい状態を指す。

ビジネスハイライト

TGC地方開催やシティプロモーションを成功裡に開催

TGC地方開催

TGC 北九州 2023 (2023年10月)



北九州市市政60周年という
記念すべき年に開催した7回目のTGC北九州。

総体感人数のべ116万人超

シティプロモーション

さばえSDGsコレクション produced by TGC (2023年10月)



めがねのまちさばえSDGsフェス2023とのコラボ。
SDGsを楽しみながら学び・体験するイベント

SDGs FES in EDOGAWA supported by TGC (2023年10月)



江戸川区にて3年連続、3回目の開催。
初のリアル&オンラインのハイブリッド開催

TGC FES YAMANASHI 2023 (2023年10月)



昨年に続き2回目の開催。
河口湖ステラシアターにて。
総体感人数のべ48万人超

BISHU COLLECTION produced by TGC (2023年11月)



愛知県一宮市で開催された「BISHU FES.」と
コラボ。真清田神社でイベント開催

地銀連携・Web3の取り組みに関する進捗

地銀連携

七十七銀行と
「MIYAGI 魅力発信プロジェクト produced by TGC_(仮称)」
を2024年春スタート予定

- 七十七銀行との連携協定の取り組み第一弾として、「産学官金」の連携体制によるプロジェクトを実施
- 宮城県域からスタート、東北全域への拡大を目指す
- 地方自治体、大学など 10 以上の団体が参加表明

【プロジェクト実施概要】

- 若者が主体となって地域の魅力を体感し、発信する人材育成プログラムの実施
- TGC プラットフォームを活用し、参画自治体、大学等の魅力発信
- 若者が主体となって制作した地域魅力動画のピッチイベント、フォーラム等の実施(2024年8月開催予定)

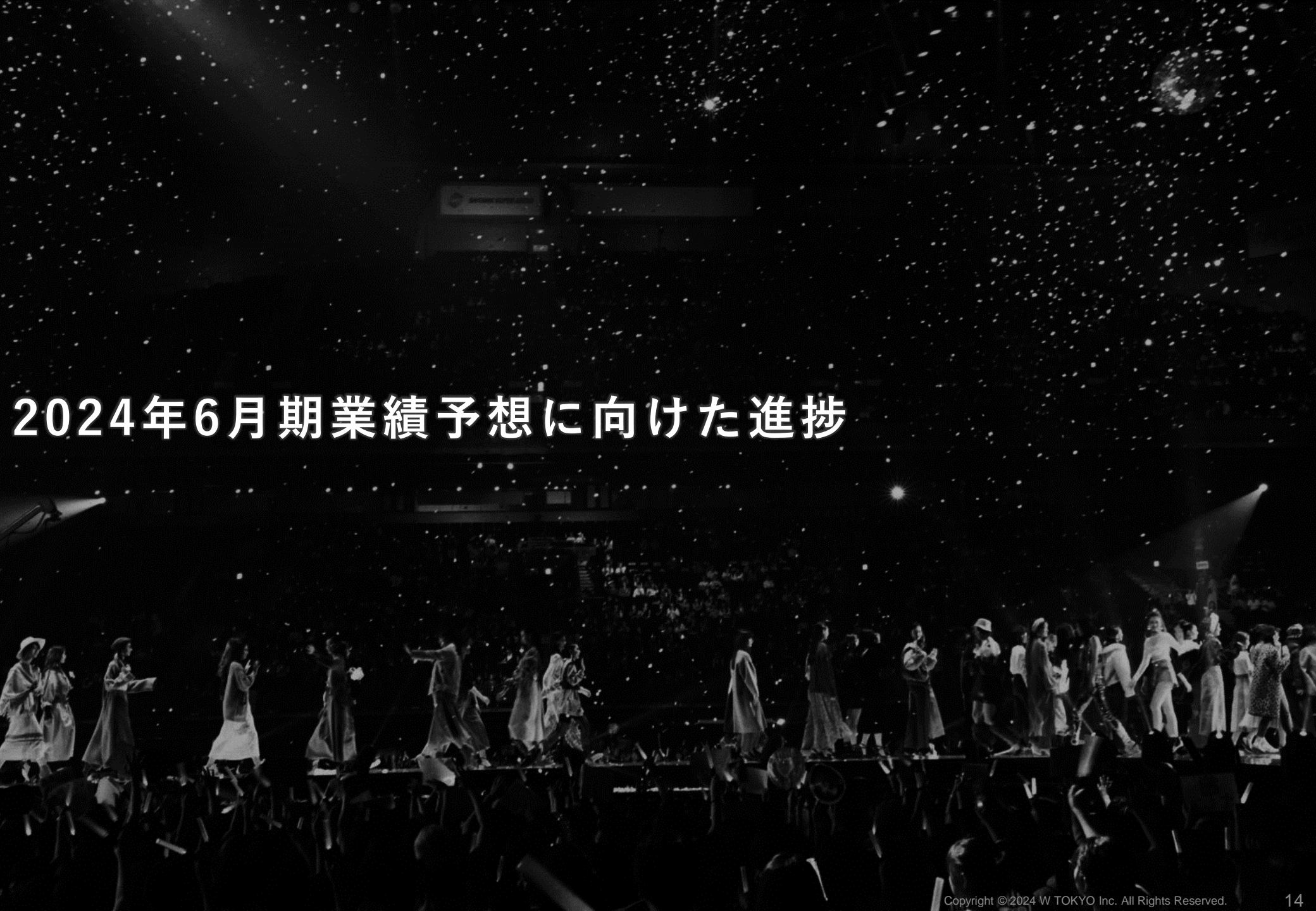
Web3の取り組み

合弁会社「YOAKE entertainment」設立。
Web3テクノロジーを活用した
グローバルなエンターテインメント事業 始動

- 秋元康氏総合プロデュースのもと、男性アイドルグループを創出・育成
- 「Astar Network」ファウンダーの渡辺創太氏、その他各出資企業の代表が経営に参画
- ブロックチェーン技術により、ファンがアイドルを応援することがトークン獲得に直接結びつくエコシステムの確立を目指す

【当社の関与】

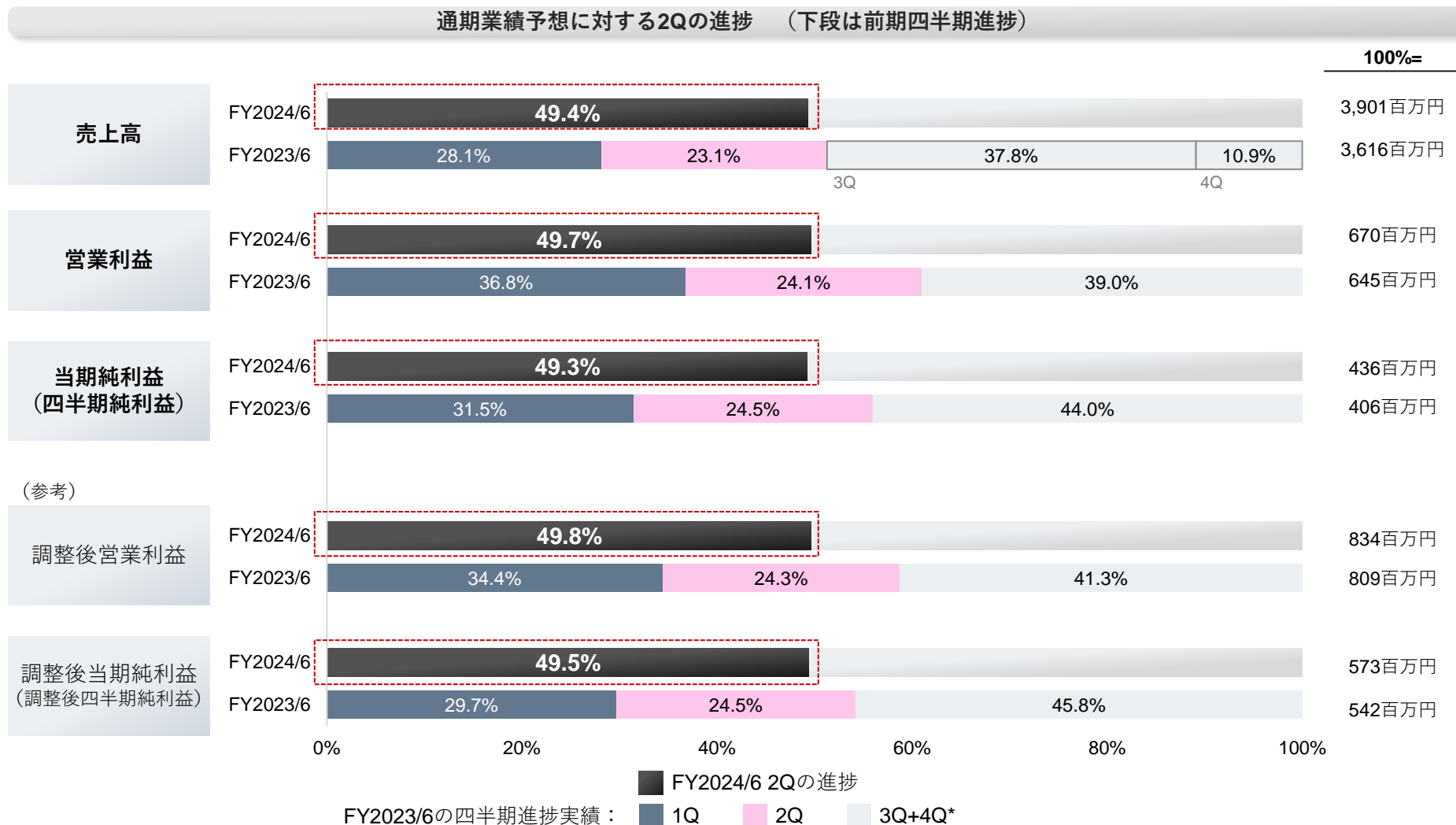
- 合弁会社に対し14%の出資
- 当社代表取締役の村上が合弁会社の取締役に就任
- TGCのステージ提供やプロモーション等、アイドルグループが活躍できるプラットフォームを提供し収益化



2024年6月期業績予想に向けた進捗

2024年6月期業績予想に対しての進捗状況

- 通期業績予想は前回発表から変更なし
- 通期業績予想に対する2Qの進捗はそれぞれ概ね50%程度

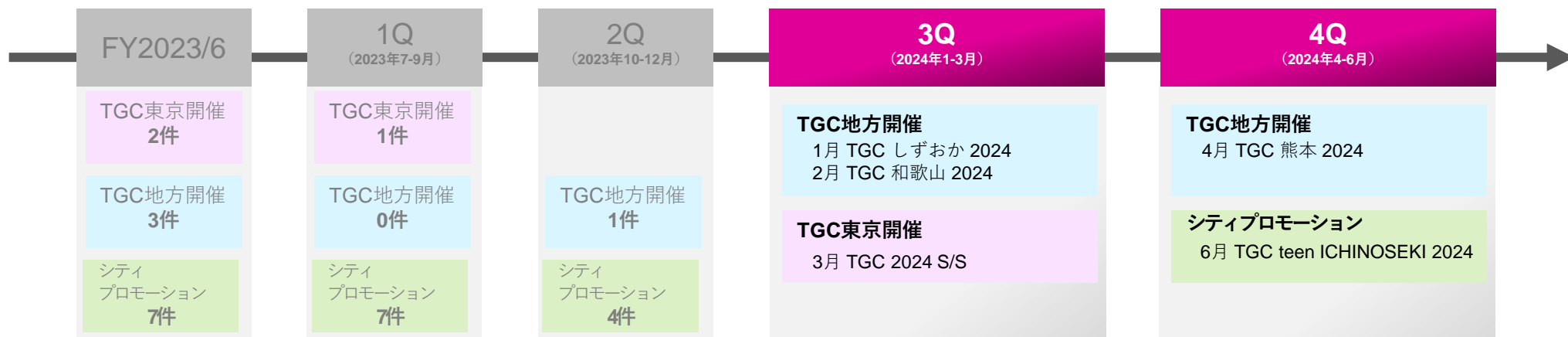


* FY2023/6の第4四半期は、営業利益、四半期純利益、ともにマイナスであったため、売上高以外は3Qと4Qの合算値で示している。

2024年6月期第3四半期以降の概況

TGC東京、TGC地方開催、シティプロモーションの展開

- 3Q以降もTGC東京開催を含む大型イベント開催計画が進行中。2019年以来となるTGC熊本の開催も決定



上記以外の、戦略的な重点取り組み施策

- 1月公表の七十七銀行との取り組みをはじめ、地銀連携の展開を一層推進
- YOAKE entertainmentを通じた、Web3プロジェクトの取り組み本格化
- 来期以降に向けた地方創生プロジェクトの設計
- 事業拡大に伴う人材投資の継続（中途採用の安定化）